



上菅田中学校だより

第4号 平成29年7月11日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する

職場体験

6月29日、2年生が職場体験を行いました。多くの事業所や公共機関の皆様のご協力のおかげで、貴重な体験をさせていただきました。

(29年度職場体験先 敬称略・順不同)

長寿庵	バン生活保土ヶ谷店	シャトレーゼ羽沢店	笹山保育園	上菅田郵便局	サイゼリア ドンキ
グリーンスポーツ	陣スポーツ	TSUTAYA 鶴ヶ峰店	Blue-sky	日産プリンス神奈川	ホーテ北口店
ガスト保土ヶ谷店	吉野家16号線西谷	セブンイレブン旭区	上菅田小学校	旭白根店	和作
食彩工房	店	川島町店	竹山保育園	竹山南幼稚園	徳風幼稚園
ズーラシア	トヨタカローラ保土	マクドナルド和田町	ガスト星川駅前店	パティスリートゥージ	ミニストップ上星川
Barbier	ヶ谷店	店	保土ヶ谷区役所	ユール天王町駅前店	店
ベーカリーキキ	霧笛楼	ふらんすやま保土ヶ	安藤スポーツ	保土ヶ谷図書館	
保土ヶ谷警察署	タウンニュース	谷店	ワークショップ夢21 西谷IVとうふ工房21		

職場体験は、キャリア教育の一環として実施しています。社会的・職業的自立へ向けて、キャリア教育を通して育てたい力は、①人間関係形成・社会形成能力②自己理解・自己管理能力③課題対応能力④キャリアプランニング能力の4つの力です。その中には、自分自身の肯定的な理解に基づき主体的に行動する力や、収集した情報を取捨選択する力など、現代社会で特に重要度が増している能力もふくまれています。大切な基本は、今も昔も変わりません。あいさつと返事がしっかりできる人、時間やきまりや約束を守る人、すすんで手伝いをする人、最後までやりとげ責任を果たす人、謙虚に学び続ける人、社会を支えているのはそういう人々です。子どもたちは、職場体験の事前の打ち合わせから、当日の体験、事後のお礼状作成までの取組全体を通して、働くことの意味と社会で生きていくうえでの人としての基本を学ばせていただきました。中学生を受け入れ、ご指導いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



祝・将棋部 東日本大会へ

お知らせ

公立高校の入試日程決定に伴い、卒業式の日時が正式に決まりましたのでお知らせいたします。

上菅田中学校第48回卒業証書授与式

日時 平成30年3月9日(金)9時30分開式

場所 上菅田中学校体育館

6月18日に開催された「文部科学大臣杯 第13回小中学校将棋団体戦 神奈川県予選」で、上菅田中学校A(3年:横谷俊輝さん、3年:東亮太さん、2年:小泉柊太さん)は、「中学校の部 大臣杯選抜戦」で見事優勝を果たし、7月24日に東京で開催される東日本大会の出場権を獲得しました。おめでとうございます。

祝・全国大会出場決定 陸上部：池田悠人さん

7月1日・2日に開催された「神奈川県中学校選抜陸上競技大会」において、上菅田中学校陸上部2年生の池田悠人さんが男子共通棒高跳で優勝し（記録：4m20）、8月19日～22日に熊本県で開催される「全日本中学校陸上競技選手権大会」への出場を決めました。おめでとうございます。



☆部活動各競技で、3年生にとっては最後の大会となる夏の大会が進行中です。たった1勝をあげることでさえ容易なことではありませんが、勝負の結果より、勝利を目指して積み重ねてきた練習の過程と、最後まであきらめずに全力を尽くす姿勢にこそ価値があります。そして、勝っても負けても人としての真価は、現役引退後に問われます。本当の勝負はこれからです。がんばれ、上中生！☆

第2回KAM1グランプリ開催

～1年生チームが優勝！

生徒会本部が、学年の違いをこえて全校で交流することの実現を目指して企画したKAM1グランプリが開催されました。昨年度の第1回は百人一首大会、今回はドッジボール大会でした。昼休みの体育館で3日間にわたる熱戦が繰り広げられ、トーナメントを勝ち上がり決勝に進んだのは、1年生の「1年生選抜～実が2つ～」と2年生の「チーム空間」でした。強豪チーム同士の決勝戦は楽しさと緊迫感の入り混じった独特の雰囲気の中で行われましたが、優勝を勝ち取ったのは1年生選抜チームでした。私も、3日間楽しく観戦させてもらいましたが、参加チームの選手も観戦する生徒も運営者の生徒会役員も、みんな本当にいい顔をしていたのが印象的でした。最高に盛り上がった楽しいイベントになりました。生徒会のみなさん、次回も期待しています。残念ながら出席できなかった「生徒総会」も今までにない数多くの意見交換があったと聞きました。生徒会のスローガン「上中大改革～温故創新」は着実にすすんでいるようです。

三点確保

夏になると、私は父を思い出します。大正生まれの父は、口数の少ない職人気質の人でした。その父が、私が中学2年の夏に、突然、私を丹沢登山に誘いました。父と二人だけで泊りがけの旅をしたのは、それが最初で最後です。父は若いころ会社の山岳サークルで本格的な登山をしていたそうですが、反抗期が始まり扱いにくくなった息子をなぜ誘う気になったのかはわかりません。

1日目は、塔ノ岳の麓の山小屋に泊まり、2日目に源次郎沢という名の溪谷の沢登り（溪流の滝や岩壁をのぼっていく登山）で頂上を目指しました。靴を山小屋で手に入れた草鞋に履き替え、滝の水しぶきを浴びながら岩壁をよじ登っていきます。はじめて経験する沢登りは私の冒険心を満たしてくれました。父に教わったことはただひとつ、「三点確保」だけでした。それは、両手両足の四点のうち一点を動かす時に、必ず他の三点は手かきや足場を確保しておくことで、着実に岩壁を登っていく技術です。当時、身軽な中学生だった私は、三点確保だけは守りながら次々と滝や岩壁をクリアしていきました。しかし、終盤、上級者向けの滝があらわれると、父は迷わず安全な迂回路へ回りました。私は少し悔しい気持ちもりましたが、山の怖さを知っている父の背中を見ながら黙ってついて行きました。「三点確保」は、登山用語ですが、今でも私の座右の銘のひとつです。